



東京会工会だより No.6

平成16年4月20日発行 東京会工会事務局 川崎市中原区上平間2079-1(ニッポ一産業(株)内) TEL044-544-0811

就任ご挨拶



東京会工会会長

荒井 士郎 (34年K卒)

この度、東京会工会十一代目会長の職を任せられた荒井でございます。赤津前会長におかれましては、長年にわたり、会の発展にご尽力を頂き、誠に有難く、心より感謝致しております。

私は、窯業科在学中の三年間、賞罰無し的一般学生でした。出身地が河東町強清水で、通学路は滝沢峠、飯盛山を眼下に見ながら「とんとんと」と下り登りの三年間よくぞ続いたな」との思いです。そのせいか、足腰が鍛えられ、現在の健康の源かと思っております。

昭和三十四年、私は卒業と同時に東京都大田区のガラス会社に就職、その年の四月、上野の『精養軒』で開催された東京会工会総会へ先輩に連れられて出席しました。田舎からポツと出の私にとっては、会場もさることながら、先輩諸兄の迫力に圧倒、窮屈な思いだけが残ったように記憶しています。その後は転職、住所移転などをしたため、当然のことながら案内は届かなくなり、経年と共に東京会工会の存在も薄れてまいりました。

平成元年、五十嵐栄先輩(24年T卒)からお誘いのお手紙を頂き、お手伝いする切っ掛けとなり、平成八年度からは、事務局を預かることになりました。その延長線上で、この度、心ならずも会長に就任いたしました。ただ、不相応な大役に少々とまどっております。

私は、同じ校舎で学び、一つの校旗の下で校歌・応援歌に声を張り上げたあの頃の『絆』を持って集まり、そして、親睦を深めようと言うのが『同窓会』の趣旨だと思っております。勿論、主役は、会員諸兄であり、私を含め執行部役員は裏方に徹し、『絆』で繋がれた会の継続的発展に協力しむことなべく、頑張る所存でございます。『絆』は、ある面で義理人情の世界かと思われ

たず、また、淋しい限りです。諸兄におかれましては、数々の会合、集まりどころを持つておられ、有意義な人生を送っていただけることと存じておりますが、昔から会津の人は、頑固だが義理人情に厚いと言われております。会津の気風を風化されることなく、理屈抜きで『校旗』の下に集まり、タイムスリップしてみませんか？

至らぬ所の多々ある私ではございますが、不足の部分は、会員諸兄のご指導を仰ぎ、七年後に迫った東京会工会『百周年』を成功させるためにも頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

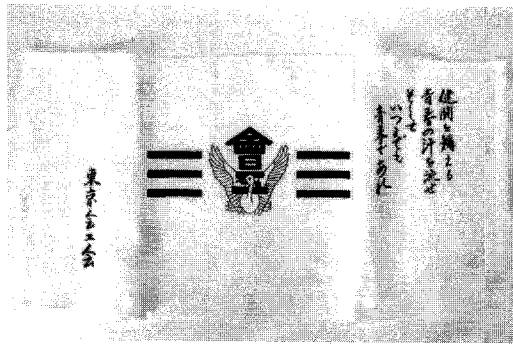
なお、今回、会則にのっとり、母校発展協力の一環として、学業・運動に優秀な成績を修めた学生に、さらなる奮起の意を込め『東京会工会名入りタオル』を記念として贈らせて頂きました。十年、二十年後、東京会工会の集まり等の席で『タオル』を貰ったとの声が聞ける事を楽しみにしております。

また、昨年十月十八日、会津若松に於いて、同窓会総会が開催されました。そこで、幾多の功績を残されました吉田会長が勇退され、新会長に梅津正夫氏(32年染織科卒)が選任されました。吉田前会長の二十数年の功績を讃え、東京会工会として、記念品(クリスタル花瓶)を贈らせて頂きました。

会津工業高校前生徒会長の秋山貴之です。受賞者を代表して一言お礼を申し上げます。し上げたいと思います。

この度、東京会工会様から勉強、部活動等で顕著な成績を残した生徒へ卒業記念品のタオルをお贈り頂き大変嬉しく思っております。記念品を受け取った生徒はこれを励みに、そうでない生徒もこれからより一層自分を伸ばしていける様努力したいと思います。

卒業後、関東方面に行く生徒が多数います。私もその中の一人です。これから東京会工会様の活動に協力させて頂きたいと思っておりますので、今後ともご指導よろしく願致します。



五十嵐 栄氏(24年T卒)書

年齢層を越えて



東京会工会幹事長
五十嵐 昭夫
(35年A卒)

先日、母校平成十五年度卒業式に東京会工会代表として、私が参列させて頂きまして。厳肅の中、三百十六名が立派に卒業していきまして。ふと、四十四年前、松井記念講堂での自分の卒業式の思い出が甦りました。これからの自分への不安と希望が入り交じった複雑な心持ちでありました。そして、翌日、吹雪の中、若松駅ホームで友人の応援歌に送られ、会津を後にしたことが昨日の様に思われます。

東京に就職してからは、懐かしい友人に会えると同窓会をとても楽しみにしておりましたが、当時の私は、あまりにも多忙だったため、会に出席することがなかなか出来ませんでした。数年後、やっと出席することが出来ました。その時は、校歌を合唱して、あまりの懐かしさに涙があふれ出しました。そして、その私が、今日の会工会のお手伝い出来ることは、とても光栄で大変嬉しく思っております。

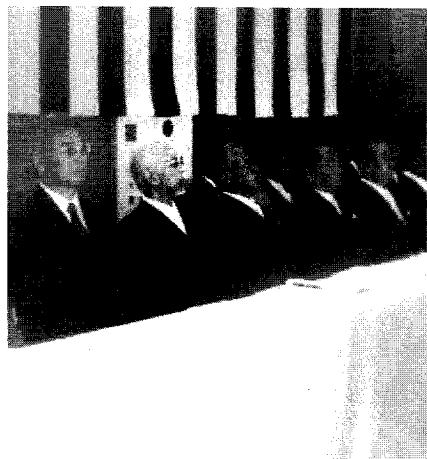
現在、執行部は、東京会工会を年配層と若い層が一体となった会にいたしたく、思案、模索をしております。ただ、二十代、三十代の若い層は、なかなか集まらないのが現状です。二十代、三十代は、仕事やそれぞれの立場上、何かと多忙とは存じておりますが、年に一度の同窓会に、是非ご出席頂きたいと存じております。

会費につきましては、現在、東京会工会

会員の内、約二百数十人の方から、会費を頂き、会工会便りの発行、通信・事務費、本校同窓会及び各地同窓会との連携費等、会の運営にあてさせて頂いております。執行部としましては、当然の事ながら経費節減に努めてはおりますが、会工会の運営をさらに円滑にするためにも、なにとぞご理解を頂き、紙面をお借りして、ここに会費の納入をお願いする次第でございます。尚執行部の会議費は室料金のみで、その他飲食代等は、各自負担となっております。

私も、新執行部は、数年後、設立百周年を迎える東京会工会を、年齢を超えた魅力ある会へと発展させ、次の代に引き継ぐことが、最大の責務であると考え、日々努力を惜しまず運営をしておりますので、どうぞ一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

頑張れ！頑張れ！
頑張れ！健男児！！
栄ある健児よ！！



東京会工会の活動

一、平成十五年度会務報告

- ① 四月十二日(土)
 - ・役員会(ふくしま会館)出席13名
 - ・総会準備(内容の検討・役割分担等)
 - ・平成十四年度会計報告(案)確認及び
 - ・平成十五年度予算(案)の検討
- ② 五月十七日(土)
 - ・郡山会工会総会(郡山市)
 - ・出席 板橋 桂副会長
- ③ 五月二十四日(土)
 - ・地引網(三浦海岸)30名
- ④ 六月八日(日)
 - ・東海会工会総会(名古屋市)
 - ・出席 赤津伸雄会長
- ⑤ 六月二十八日(土)
 - ・平成十五年度総会(上野 精養軒)
 - ・来賓8名、会員83名
- ⑥ 六月二十九日(日)
 - ・近畿会工会総会(京都)
 - ・出席 五十嵐清夫副会長
- ⑦ 八月五日(火)
 - ・役員会(ふくしま会館)出席17名
 - ・総会反省・芋煮会・ゴルフコンペ
 - ・会報発行・顧問合同役員会
- ⑧ 九月十一日(木)
 - ・ゴルフコンペ(栃木ヶ丘CC)24名
- ⑨ 十月十二日(日)
 - ・芋煮会(多摩川河畔 大黒屋)61名
 - ・本部同窓会総会(会津若松市)
 - ・出席 荒井会長・芳賀副幹事長
- ⑩ 十月十八日(土)
 - ・ゴルフコンペ(大厚木CC)13名
- ⑪ 十一月二十七日(土)

⑫ 十二月六日(土)

- ・役員会(ふくしま会館)15名
- ・本部同窓会報告・ゴルフコンペ報告
- ・芋煮会反省・顧問に関する会則
- ・東京会工会百周年記念活動について
- ・東京会工会タオル取り扱いについて
- ⑬ 一月十七日(土)
 - ・会報編集委員会(上野 石楠花)8名
- ⑭ 一月二十六日(日)
 - ・顧問幹事合同役員会(上野 翠鳳)28名
 - ・東京会工会運営方針の再確認
 - ・東京会工会タオル作成及び活用方法
 - ・顧問の運用、会報発行、新幹事の選任
 - ・平成十六年度総会開催予定
- ⑮ 二月二十七日(土)
 - ・母校にタオル百十本寄贈
- ⑯ 三月一日(月)
 - ・会津工業高等学校平成15年度卒業式(会津若松市)五十嵐昭夫幹事長 出席
- ⑰ 三月十三日(土)
 - ・会報編集委員会(上野 石楠花)9名

二、平成十六年度活動計画(案)

- ① 四月中旬「東京会工会だより」発行
- ② 五月二十日 地引網&バーベキュー(三浦海岸)
- ③ 六月二十六日(土) 東京会工会総会(精養軒)
- ④ 九月中旬 ゴルフコンペ(東関東)
- ⑤ 九月下旬 梨狩り(東関東)
- ⑥ 十月九日(土) 芋煮会(多摩川河畔 登戸)
- ⑦ 十月上旬 ゴルフコンペ(西関東)
- ⑧ 一月下旬 顧問・幹事合同役員会

訃報

- ・平成十五年九月一日
 - 顧問 山浦 徳春氏(6年C卒)
 - ・平成十六年三月八日
 - 会員 一重 亜男氏(33年K卒)
- ここに謹んでご冥福をお祈り致します。

就任ご挨拶



同窓会会長

梅津正夫

(32年T卒)

陽春の候、東京会工会の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は同窓会活動に格別のご支援とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、母校は創立百二年目を迎え、平成十五年卒業生の同窓会入会式が去る二月二十七日に校長の八巻茂雄様はじめ教頭の渡辺秀雄様、同じく教頭の佐藤国喜様、事務局の高橋清様のご臨席を賜り、盛大かつ厳肅の内に終了する事が出来たのは、これ偏に会員の皆様のご支援ご協力の賜物とお礼申し上げます。さらに今回は、東京会工会よりタオルをご贈頂き、鶴賞をはじめ各種受賞の生徒に授与しました。生徒達も先輩達の温かい気持ちに喜んでおりました。心より感謝申し上げます。三月一日には卒業式が挙行され、三百十六名の生徒が立派に卒業し、今年度の卒業生を加えて同窓会会員は二万四千余名となりました。卒業式当日は「ホテルいづみや」において卒業生の前途を祝し、卒業生がこれまでにご指導頂いた校長先生はじめ諸先生に感謝と慰労の意を表し、さらに地域住民・関係各位に感謝しながら盛大に祝賀会が行われました。私は平成十五年十月の総会で、二十五年の長きに亘り同窓会発展の為に尽力頂きました前吉田会長より引継ぎ、同窓会会長を仰せつかりました。微力ながら粉骨砕身

努力をする所存であり、会員の皆様には今後とも指導ご協力をお願い申し上げます。最後になりましたが、東京会工会の益々の発展と会員の皆様のご健康とさらなるご活躍を心からご祈念申し上げます。

百周年記念事業報告

創立百周年記念事業実行委員会は、昨年三月十八日、最終委員会を開き、記念事業の成功を報告、解散致しました。募金・寄付・協賛合わせて、一億五千万円、同窓会会館は、会議・部活動等、有効に活用されており、尚、沿革誌「会工百年史」は五月発刊予定です。

東京会工会会員の皆様には、多大なご支援ご協力頂きまして、本当に有難う御座いました。今後ともよろしくお願い致します。(創立百周年記念事業実行委員会)

吉田同窓会会長退任される

吉田一栄(20年K卒)同窓会会長が、平成十五年十月総会に於いて退任されました。昭和五十四年十月、会津工業高校同窓会会長に就任され、昭和五十七年十月「八十年記念事業」、平成四年十一月「九十年記念事業」、平成十四年十月「百周年記念事業」及び「記念式典」等に「尽力下さいました。二十五年にわたり、同窓会会長として大任を全うされました事に対し、同窓会会員一同、敬意と感謝の意を表しております。

今後共益々の御指導、御鞭撻をお願い申し上げますと共に、御健康と御多幸を祈念申し上げます。(東京会工会だより編集委員)

喜びの擧式

新装の會工で



明眼、櫻井、生花、藤を公開、午後一時からは若松陸軍病院から白衣の勇士を招待、午後五時からは新装の會工と歓迎會を催した。

(昭和十五年五月の毎日新聞より)

懐かしき思い出

会員の方が、会津工業高等学校創立三十五周年の懐かしい新聞記事と当時の思い出を寄せて下さいました。

三十五周年の新聞記事をご参考までにお送りしましたので「覧下さい」。

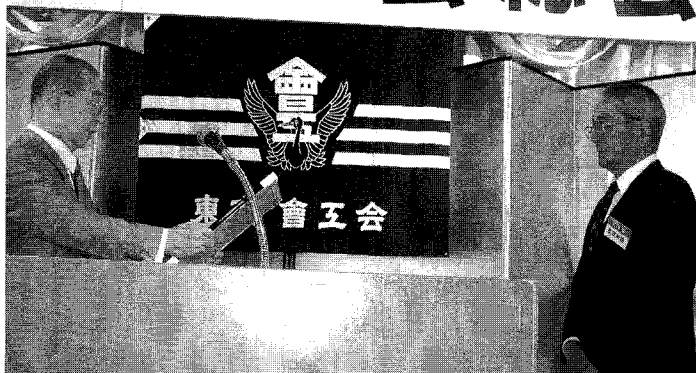
今から六十三年前(昭和十五年)、機械科が故松江春次氏(南洋興発(株)社長)(会津中学出身者)の膨大な寄付金によって増設されました。当時、在校中の私は、記念式

典が新しい講堂で行われたこと、記念の手拭(染織科製)が配られたこと等が思い出されます。記事を見ても戦前の文語、仮名遣いが、本当に懐かしく記されています。

この後、十二月八日には、大東亜戦争が勃発し、世の中は戦争一色となりました。(中田 宏司・17年M卒)

母校一〇〇周年おめでとうございます。さて、創立三十五周年当時の新聞記事をお送り致します。三十五周年の時は在学中で、式典に参加松江春次氏のお話を伺った覚えがあります。懐かしい思い出です。(渡部 一恒・17年M卒)

東京会工会総会



十五年度東京会工会総会

恒例の東京会工会総会が、六月二十八日(土)、上野の杜『精養軒』において開催されました。

総会及び懇親会は、会津工業高校八巻校長、吉田同窓会会長を始め、各支部会長・役員の方々のご臨席を賜り、会津本部会員(三名)、東京会工会会員(八〇名)の総勢九名によって、滞りなく盛会裡に終了致しました。

会員の皆様のご協力を感謝致しますと共に、今後ともさらなるご支援を下さいます様、よろしくお願い致します。

東京会工会総会



恒例の鏡開き
赤津東京会工会会長の退任に対し、吉田同窓会会長より功労賞及び記念品贈呈
住吉会民謡グループによる会津民謡



いつも秋晴れ！芋煮会！

十月十二日(土)、多摩川登戸にて、芋煮会が開催されました。

昨年は、東京サマーランドでの開催でしたが、交通の便が悪かったという事もあり、再び多摩川河川敷に戻ってまいりました。

主役は、なんとと言っても会津の銘酒を飲み交わしながらの芋煮やニシン・まんじゅうの天ぷらといった、幼い頃を思い出させる懐かしい味です。ピング大会では、豪華景品に、参加者も大満足！大歓声！最後に、恒例の校歌・応援歌斉唱にて、大盛況の内に散会の時を迎えました。



大漁だよ！地引網！！

五月二十四(日)、三浦海岸で会工会初めての『地引き網』を開催致しました。前日は、台風並の大荒れの天気でしたが、開催当日は、晴天に恵まれ、波も穏やかでした。青空の下、参加者三十名で、海岸に



網を一齐に引き上げにかりました。しかし、予想以上の大漁だったため、重くてなかなか引き上げることができません。皆「ヨイシヨ、ヨイシヨ」とかけ声を掛け合い、必死に引つ張って、ようやく浜辺に網を引き上げることができました。額に汗して捕れた魚の味は、また格別で、地引き網の醍醐味を全身で味わいました。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



第一回 南関東ゴルフ大会

齋藤 博正
(37年K卒)



昨年十一月二十七日(木)、神奈川県内の大厚木CCにて、総勢十三名で、第一回南関東ゴルフ大会を開催いたしました。当日は、やや肌寒さを感じましたが、初めてのメンバーとは思えない程の仲の良さ、そして会津弁丸出しでの真剣なプレーで、有意義な秋の一日を楽しむ事ができました。《初代優勝》角田 新作(31年A卒) 《準優勝》佐藤 功(39年L卒) 《第三位》五十嵐清夫(33年K卒)

第十四回 北関東ゴルフ大会

小林 啓
(36年L卒)



昨年九月十一日(水)、栃木ヶ丘CCにおいて、会員二十四名(六組)による北関東地区ゴルフ大会が開催されました。好プレー・好スコアが続出のプレーの中、ゴルフ歴二十五年の私が、運良く優勝する事ができました。次回もまた、和やかなこの大会に参加したいと思います。

《優勝》小林 啓(36年L卒) 《準優勝》渡辺正 義(31年E卒) 《第三位》中丸 正弘(31年A卒)

どっちだろう？



東京会工会常任幹事
岡村 進
(32年E卒)

来世は本当に在るのだろうか？……と考えることがある。

もし在るとするならば、すでに亡くなった両親とか、お世話になった人や親しくして頂いた方々と是非にもお会いし、その方達に生前のお礼やら思い切りグチなどと言ってみてみたい。しかし、知っている範囲では亡くなった方々が戻ってきて、あの世のことを語ってくれた人は誰もいない。

彼岸という所は、よっぽど良い所で帰りたいのか、厳しい規制があつて帰れないのか、それとも何もないのか……。

仏式では、宗派によつて、亡くなると多額な金銭で戒名なるものを購入(？)、それなりに階級がある。

死んでも差別があつていいのだろうか？
もしも、位が低くてハスの葉にも乗せてもらえず、おぼれて死んだら次はどこへ行くのだろうか？

戒名のない宗教の方たちは、あの世での生活に不自由しないだろうか？

本当に来世はあるの？ 天国つてどんな所？ それとも何もないの？

先般、親しい友人が不治の病で亡くなった。酒の好きだった彼は、生前家族から「身体に悪いから絶対にダメ」と禁酒を続け、亡くなったら「酒が好きだったから」と墓前に供えてもらつてゐる。あの世では酔つ払つ

ても良いのかな？ あの世の酒の味は？

『酒なくて何のこが花見かなやっぱり生きていこううちに楽しんだ方が良いと思うけど、そんな不謹慎な事では、極楽行きの列車に乗せてもらえないかもと、反省はしている。』

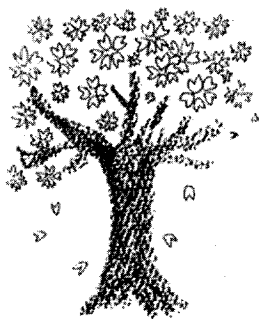
今、日本は平和でのんきな事を言っているが、イランやイラクでは市民の犠牲・兵士の死亡が報じられ、本当にユウウツになつてしまふ。

イラク開戦時は、空爆をテレビ解説者が嬉々としやべり「ドラマの戦争ごっこ」と錯覚するし、毎晩の事で寝不足となつた。文明が誕生した国と、現代文明のトップ

にある国が、何で争うのか非常に悲しい事である。お互いに「神よ我々に祝福を」とか、「神の導くままに、我々にご加護を」とか言つていたが、実際のところ神様はどこかに軍配を上げたのだろうか？

ただ、『アメリカ力攻撃反対』の大きかりなデモや集会があつたが、『イラクは武器を捨てろ』と言うデモがあつても良いのではないかとも思つた。

でも、私たち日本人としては『核開発やめろ』『拉致家族を返せ！』つて言う方が、先決のような気がするけど、本当はどっちだろうか？



「暦」と「時間」



東京会工会常任幹事
内川 義 則
(43年E卒)

学校や会社にとつての三月は「師走」で、三月三十一日は「大晦日」であり、四月一日は「元日」である。このように暦にも、日常的に一月から始まる「暦」とは別な「時間の暦」がある。

一方、物理的な時間の一秒は「時間単位」として決まつているが、ひとたび物理の世界を離れて「心の時間」に移ると、時間についての長短や進みの速さに対する感じ方は、人それぞれに異なり、万人が認める物理学の世界における「定量的な共通尺度」とは異なつてくる。言い換えれば、その人の心理的狀態で、時間の長短が決まつてくることになる。楽しい事や好きな事で過している時間、あるいは、物事の始まる直前で準備に追われる時間、さらには時間が制限された中での負け試合における残り時間の減り方は短く感じ、他方、強制された物事の中にいる時間、恐怖や悲しみの中に過す時間、勝ち試合における終了間際の残り時間などは進みが遅く、特に、長く感じることをしばしば経験することがある。このように、同じ量の時間に対する感性は、行動が能動的で、充実感や達成感など、「心の充実さ」をもたらす時間は短く感じ、行動が受動的で、嫌悪感や空虚感など、「心に不快感」をもたらす時間は長く感じるものとなる。

また、それらを過ごした時間の心の状態

は、季節感にも例えられる。例えば、快さや充実さなどの幸福感は、冬にあつても春や夏の季節感に、また、満たされない忍耐の時期は、たとえ真夏であつても冬の季節感として表され、自然界の流れに沿つた「暦」に見られる四季の季節感とは別な時間(季節)がある。このように、心の中に流れた時間の季節的表現は、文学の中だけでなく、私たちの生活の中にもしばしば見られるものである。

一方、今日では、このような「人間の感性」を測り、会話能力のない病人やベッド生活者と介護者とのコミュニケーションに役立たせようとするセンシング技術の開発が求められている。これらを測るためには、温度には温度計、圧力には圧力計、重さには天秤というように「測定物理量と測定器」が対応していることが基本であるが、「痛みや痒み」、さらには「美しい、嬉しい、悲しい」などの感覚(感情)は、従来の物理量とは異なり、本人のみがその強さや弱さの程度を知るもので「心の中で感じる量」であり、物理量としての「単位」はまだないのである。しかしながら、これらの感性も脳の中で行われる物理化学的・電子工学的情報処理の一つと考え、「日常暦」の時間と離れて「物差し」作りに挑戦している人々が世界中にいたのである。

時には、「草枕」の冒頭の一節を思い浮かべながら、このような時間の多面性を考える「思考実験」も脳の活性化の一助になると思われる。



平成15年度年会費納入者一覧

(平成16年3月31日現在)

Table with 5 columns of names and numbers (e.g., S 9T 佐々木忠平, S31K 古川 征一, S26C 増田 直巳, S27M 舟田 昭夫, S31E 佐藤 光一).

平成15年度 御祝儀・基金寄付者名

(順不同)

① 総会時

Table listing names and amounts for the general meeting (e.g., 会津工高校長 八巻 茂雄氏, 同窓会会長 吉田 一栄氏).

② 振込扱

佐々木忠平氏 (09T) 中田 宏司氏 (17M)

③ 三浦海岸地引網時

荒井 士郎氏 (34K)

④ 芋煮会時

Table listing names and amounts for the sweet potato festival (e.g., 押山登喜男氏 (16T), 荒井 士郎氏 (34K)).

⑤ ゴルフ大会時

Table listing names and amounts for the golf tournament (e.g., 新田 浩夫氏 (24T), 五十嵐清夫氏 (33K)).

⑥ 顧問・役員合同新年会時

Table listing names and amounts for the advisory/committee contract New Year meeting (e.g., 押山登喜男氏 (16T), 鶴川兵四郎氏 (21L)).

平成 15 年度東京会工会総会出席者

日時：平成 15 年 6 月 28 日(土) 場所：上野精養軒

(敬称略)

〔御来賓〕 会津工業高校校長 八巻 茂雄 郡山会工会幹事長 金田 寛(21M)
 会工同窓会会長 吉田 一栄(20K) 郡山会工会幹事 鈴木 芳文(20C)
 同窓会事務局 風間 眞一(45L) 近畿会工会会長 大島 武二(20C)
 同窓会幹事長 手代木利夫(28A) 東海会工会副会長 水野 正雄(24K)

〔会 員〕

T16 押山登喜男	K33 大竹 國正	C27 秋山 利喜	M40 戸野部武彦	A31 中丸 正弘
24 五十嵐 栄	33 加藤 修次	29 岡島 文弘		32 金子 昌輝
24 室井 忠六	33 出羽 重夫	30 国井 成夫	E26 管家 忠平	32 木村 幸弘
25 板橋 桂	33 玉川 進	30 小町谷昌宏	27 佐藤 達也	32 宮森 健介
27 村岡 司國	33 成田 正明	31 秋山 利光	27 新藤 健	33 澤里 勝人
34 石綿 弘	33 渡部 貞衛	33 穴澤 利	30 川島 良夫	35 五十嵐昭夫
34 小池 清	34 荒井 士郎	33 高橋 峰夫	31 鈴木 忠恵	39 浅井 国明
	34 辺見 輝夫	33 金川 和也	32 岡村 進	
L20 大川原 薫	37 斉藤 博正	33 長谷部 博	32 小桧山 昇	特別参加(会津若松)
20 山田 登	44 高木 博康		33 五十嵐邦雄	A31 吉川 宏
21 鵜川平四郎	47 武藤 政明	M26 木村 孝	36 堀 雅宏	32 渡部 武
35 芳賀 勝義		27 橋本 修	40 星 陽一	32 本間 克己
	C17 渡部幸四郎	27 舟田 昭夫	42 佐瀬 彰	
K20 赤羽 恒夫	20 木下 繁利	38 伊藤 孝行	42 田中 健一	出席者 91名
20 岸 傳三	20 郡司 輝良	38 佐藤 利秋	43 内川 義則	(来賓8名含む)
20 柴山 景介	23 秋山 勇	39 古見 四友		
20 田場川與咲	24 蓬田 光雄	40 江川 竹夫	D46 星 作美	
31 古川 征一	25 石見 勝雄	40 大原 雄三		
32 岸 宗男	25 加藤 昭八	40 杉原 努	A28 渡部 保男	
33 五十嵐清夫	25 赤津 仲雄	40 鈴木 邦男	31 大矢 隆	

平成 15 年度決算書

(自 平成15年 4 月 1 日 ~ 至 平成16年 3 月 31 日)

(単位：円)

	平成15年度予算案	平成15年度決算	比 較 増 減	備 考
前期繰越金	504,640	504,640		
収入の部				
総会会費	810,000	747,000	▲ 63,000	9,000× 83名
年会費	540,000	475,000	▲ 65,000	2,000× 238名
芋煮会費	240,000	305,000	△ 65,000	5,000× 61名
役員会合同新年会費	240,000	232,000	▲ 8,000	8,000× 29名
同窓会助成金	100,000	100,000	0	
受取利息	0	0	0	
ゴルフ大会費	0	323,000	△ 323,000	
三浦海岸地引網会費	120,000	155,000	△ 35,000	
雑収入(寄付等)	250,000	303,000	△ 53,000	
小計	2,300,000	2,640,000		
合計	2,804,640	3,144,640		

支出の部				
総会会費	900,000	833,685	▲ 66,315	
芋煮会費	240,000	286,761	△ 46,761	
役員会合同新年会費	240,000	202,970	▲ 37,030	
通信・印刷費	130,000	125,205	▲ 4,795	
事務用品費	20,000	5,103	▲ 14,897	
地方同窓会参加費	120,000	112,000	▲ 8,000	
役員会会議室代	70,000	66,442	▲ 3,558	
『会工会』だより発行	130,000	147,000	△ 17,000	
事務局費	100,000	30,000	▲ 70,000	
ゴルフ大会費	0	323,000	△ 348,000	
三浦海岸地引網費	120,000	154,350	△ 34,350	
予備費	100,000	194,057	△ 94,057	
小計	2,170,000	2,480,573		
翌期へ繰越	634,640	664,067		
合計	2,804,640	3,144,640		

編集後記

春暖の季節となりましたが、会員の皆様にはお元気で活躍のこととお慶び申し上げます。昨年6月に新役員及び新執行部が

船出してから、もうすぐ一年が経とうとしております。皆様のご協力とご指導によって、大過なく企画等遂行することができました。今年度は、昨年度好評だった地引網の他、梨狩りなど、さらに魅力的な行事を企画しています。会員の皆様の一層のご参加、ご協力を役員一同、心よりお願い申し上げます。